

株 主 の 皆 様 へ

FUJI NIHON SEITO CORPORATION



第95期 中間報告書

2017年4月1日から2017年9月30日まで 証券コード：2114

 フジ日本精糖株式会社

企業理念

私たちは、「夢のあるたくましい会社」を目指し、健康な生活づくりに貢献します。

経営方針

- ① 顧客第一主義の徹底
- ② 会社の発展と共に社員が成長する企業文化の形成
- ③ 公正で透明性のある企業活動の推進
- ④ 社会に評価される企業価値の向上
- ⑤ 社会に貢献する企業市民活動の充実

CONTENTS

トップインタビュー	P 2
セグメント別の状況	P 5
連結財務諸表	P 7
会社の概況/株式の概況	P 9
トピックス	P10
インフォメーション	裏表紙

● 表紙の写真について

表紙の写真は、当社「写真同好会」の辻田 和人が撮影した作品です。



撮影地 - 富士宮市 上柚野 - 「初冬の足音」

トップインタビュー

成長への基礎固めと新規事業の育成に注力し 企業価値のさらなる拡大を目指します。

Q 当上半期の営業状況についてご説明願います。

A 「イヌリン」の国内販売が前年同期を大きく上回る一方、精糖事業は販売減となるものの増益となりました。

主力の精糖事業は、上半期を通して低調な荷動きで推移し、今年7月には海外原糖相場の下落を受け、製品価格の引き下げを実施しました。天候不順などにより販売数量も前年同期を下回り、減収となりましたが、原料糖買付の低減効果や生産コストの削減により、増益となりました。

機能性素材事業は、国内における「イヌリン」の販売が前年同期を大きく上回りました。今年6月に「イヌリン」の整腸作用に関する機能性表示申請が受理されたことに加え、低糖質ブームも追い風となり、採用頂く取引先様が増加しています。タイ連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co., Ltd.は、「イヌリン」の現地販売を当期から本格化しました。9月に同国で開催された食品素材展示会「Fi-Asia2017」にも「イヌリン」を出品し、高い評価を獲得しています。その他の機能性素材では、切花活力剤事業において、新規販売チャンネルの開拓等により、増収増益となりました。連結子会社ユニテックフーズ株式会社は、ゼラチン・OEM事業の伸び悩みをペクチン・介護食等でカバーしました。機能性素材事業全体としては、増収増益となりました。

新規事業として立ち上げたタイのパン製造・販売事業は、同国内の大手量販店・コンビニ向け販売が増加し、周辺国への輸出も開始しました。今後は早期の黒字化に向けて新商品の開発に注力し、販売を拡大していきます。

以上により当上半期の連結業績は、売上高99億1千3百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益5億3千5百万円（同21.0%増）、経常利益7億4千8百万円（同43.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億9千5百万円（同31.0%増）と増収増益となりました。



代表取締役社長 船越 義和

Q 中期経営計画の見直しについてご説明願います。

A 再設定した目標の達成に向けて、各事業の課題対応を着実に遂行していきます。

当社は現在、2019年3月期を最終年度とする3ヵ年中期経営計画を推進中です。本計画では「成長を目指した基礎固めと新規事業のさらなる育成」に向けて、「収益力の向上」「事業の多角化」「海外展開へのさらなる挑戦」「企業ガバナンス

の強化と社内体制の充実」「人財の育成・確保」の5つを基本戦略に定め、全社的な取り組みを進めています。

数値目標については、このたび各事業における売上成長と利益率の状況を踏まえて見直し、売上高205億円、営業利益9.5億円、経常利益11億円、親会社株主に帰属する当期純利益7億円、ROE4.3%に下方修正しました。

残る1年半の計画期間において、以下に述べる課題対応を着実に遂行し、目標の達成を目指してまいります。

精糖事業は、砂糖消費量の減少傾向により年々厳しい環境となっておりますが、その中で安定的な収益基盤を維持すべく、営業力強化と生産効率化を図ります。

機能性素材事業は、国内および海外における「イヌリン」の拡販・市場開拓が最大の課題です。国内では「イヌリン」の新たな機能性表示（血糖値の低減効果、血中脂質の低減効果）の申請をしており、エビデンスおよびデータの取得・蓄積に努めながら、アプリケーション開発を加速し、量・質の両面から販売体制を拡充していきます。

連結子会社ユニテックフーズ株式会社は、主力天然素材のユーザー開拓とシェア拡大、品質改良材の拡販が課題であり、ユーザー向け提案力の強化により対応していく考えです。

Q 下半期からの展開と通期の業績見通しをお聞かせください。

A 液糖生産移管と国内外の「イヌリン」拡販により、業績の改善を果たします。

精糖事業は、当社清水工場から共同生産工場である太平洋製糖株式会社への液糖移管工事が前期末で終了し、太平洋製糖株式会社からの液糖出荷が始まっているため、下半期はこの集約化による生産性向上効果が表れてくる見込みです。

「イヌリン」については、国内生産を中止し、すべてタイ工場への生産移管を完了しました。今後は、新たな機能性表示の取得を目指し、新規ユーザーによる採用につなげていきたいと考えています。アジア各国においても、機能性素材への関心が一層高まっていくと予想されており、これらのビジネスチャンスを実際に捉え、販売を拡大していきます。

通期の連結業績については、今のところ期初の予想数値を変更せず、売上高200億円(前期比3.4%増)、営業利益8億5千万円(同37.0%増)、経常利益10億円(同16.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益6億2千万円(同13.2%減)を見込んでいます。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 長期的な事業成長を見据え、今後はグローバル人材の育成に力を入れていきます。

当期の期末配当は、1株当たり10円を予定しています。引き続き株主の皆様への利益還元を重視しつつ、柔軟な配当政策を実施してまいります。

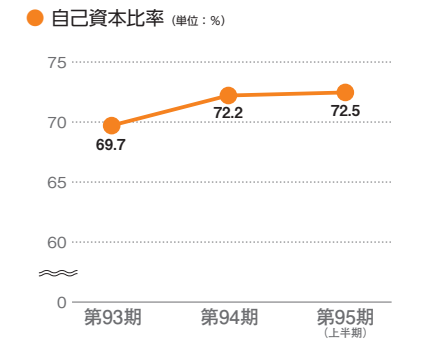
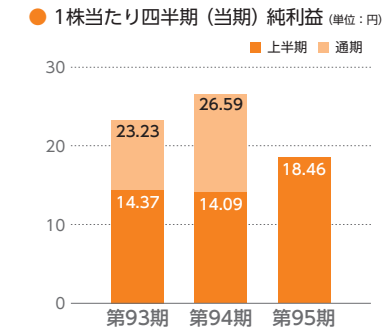
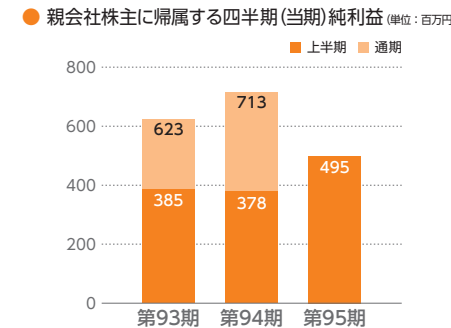
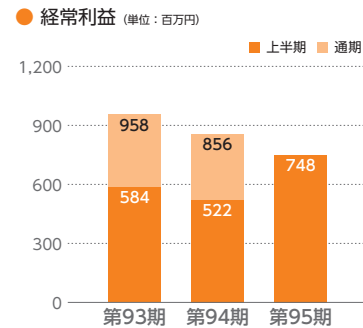
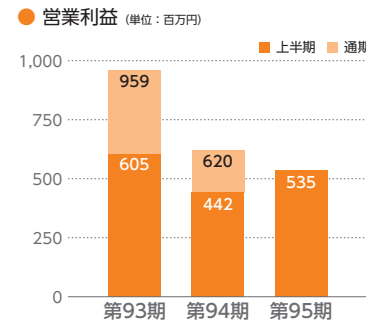
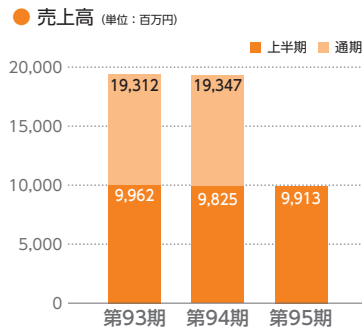
当社では、タイに設立した各子会社による事業展開を早期に軌道に乗せることを最優先とし、今後は、長期的な事業成長を見据え、グローバル人材の育成に力を入れてまいります。

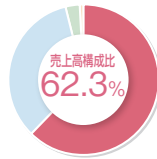
株主の皆様におかれましては、これからも当事業へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



連結業績ハイライト

CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS





精糖事業

事業内容：精製糖、砂糖関連製品の製造販売を行っております。

当上半期の概況

売上高： 6,180百万円
営業利益： 705百万円

精糖事業につきましては、海外原糖市況はニューヨーク先物市場が期初16.93セント（1ポンド当たり）で始まり、その後は世界の砂糖の需給が3年ぶりに生産が消費を上回るとの見通しから下落し、13セントを割り込みましたが、ブラジルの砂糖生産が昨年度より下回るとの観測から買い支えられ、当上半期末は13.54セントまで戻して終了しました。

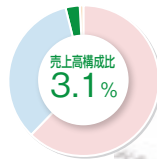
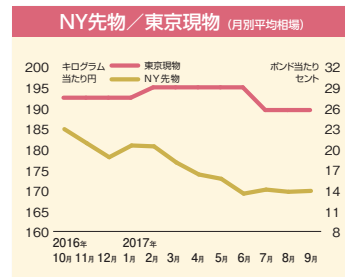
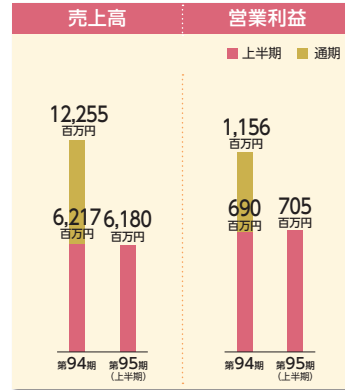
ニューヨーク市場先物相場（セント/ポンド当たり）の動き

期初	高値	安値	期末	平均
16.93	17.18	12.53	13.54	14.53

一方、国内製品市況は東京現物相場（日本経済新聞掲載）が期初195円～196円（上白大袋1キログラム当たり）で始まり、海外原糖相場下落を受けて7月に製品出荷価格を6円引き下げ、当上半期末は189円～190円で終了しました。

製品の荷動きについては、菓子、冷蔵向けの販売が好調でしたが、夏場の天候不順もあり飲料向けの販売を中心に伸び悩み、販売数量は前年同期を下回りました。利益面では効率的な原料調達や製造コストの削減に努めました。

この結果、売上高は6,180百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益は705百万円（同2.2%増）の減収増益となりました。



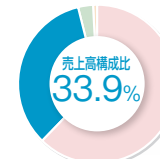
不動産事業

事業内容：当社が所有する土地建物の賃貸およびその他不動産関連事業を行っております。

当上半期の概況

売上高： 306百万円
営業利益： 272百万円

不動産事業につきましては、杉並区荻窪に賃貸用土地を取得し、引き続き安定収益の確保に貢献しました。この結果、売上高は306百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益272百万円（同1.5%増）の増収増益となりました。



機能性素材事業

事業内容：機能性食品素材、食品添加物、切花活力剤等の製造販売、果実加工原料の販売を行っております。

当上半期の概況

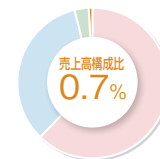
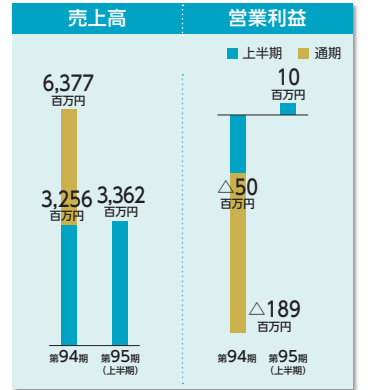
売上高： 3,362百万円
営業利益： 10百万円

機能性素材事業につきましては、機能性食品部門ではイヌリンの整腸作用に関する機能性表示申請が受理されたことに加え、低糖質ブームが追い風となり、国内での新規採用が増加したことにより増収となりました。

切花活力剤部門では、切花活力剤「キープ・フラワー」において量販店の売り場拡大やギフト・通販市場の開拓により増収となりました。

連結子会社ユニテックフーズ株式会社におきましては、主力製品であるゼラチンが伸び悩みましたが、概ね前年同期並みの売上高となりました。

これらの結果、機能性素材事業全体としては、売上高は3,362百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は10百万円（前年同期 営業損失50百万円）の増収増益となりました。



その他食品事業

事業内容：タイ国においてパンの製造販売を行っております。

当上半期の概況

売上高： 64百万円
営業損失： 70百万円

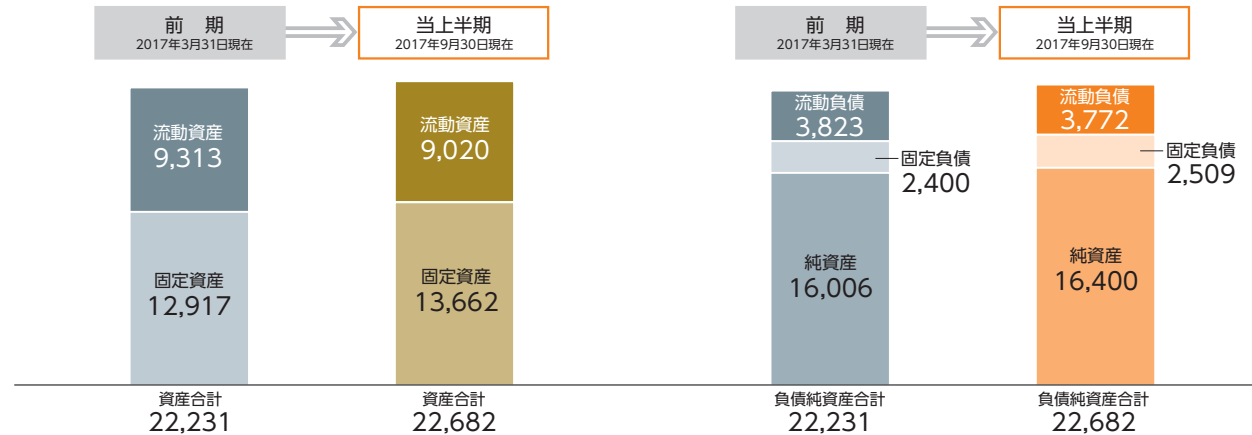
その他食品事業につきましては、DAY PLUS (THAILAND) Co., Ltd.の製パン事業ですが、売上高は64百万円（前年同期比25.6%増）、営業損失は70百万円（前年同期 営業損失54百万円）の増収減益となりました。



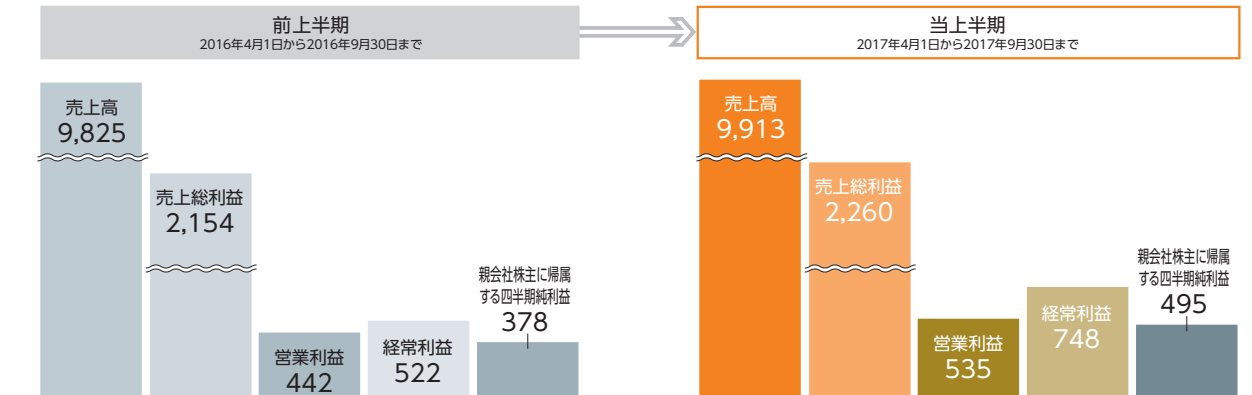
連結貸借対照表

● 資産の部 (単位: 百万円)

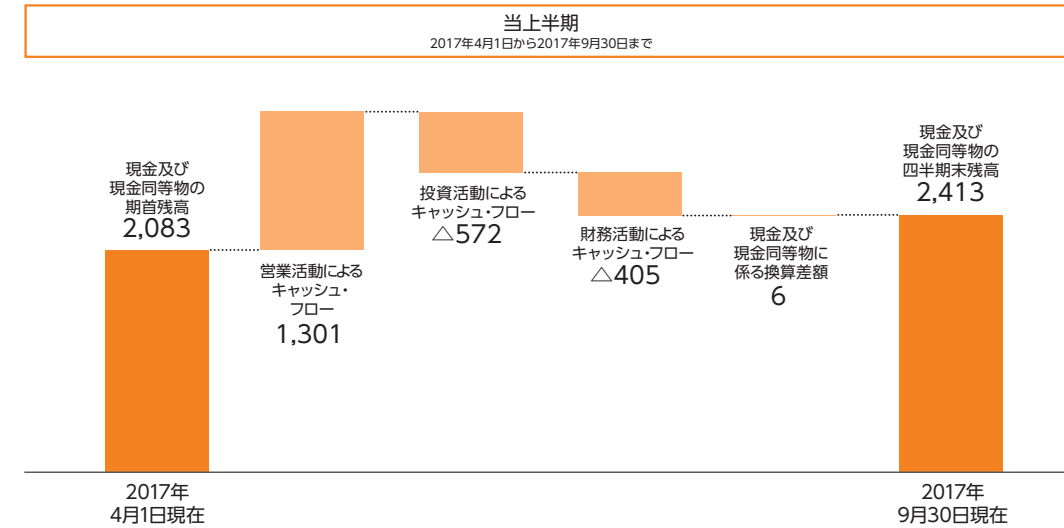
● 負債の部 (単位: 百万円)



連結損益計算書 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)



財務のポイント

● 資産

資産につきましては、流動資産で前期末に比べ3.2%減少し、9,020百万円となりました。これは主に原材料および貯蔵品の減少等によるものであります。

また、固定資産は前期末に比べ5.8%増加し、13,662百万円となりました。これは主に有形固定資産に含まれる土地の増加等によるものであります。

● 負債

負債につきましては、流動負債で前期末に比べ1.3%減少し、3,772百万円となりました。これは主に買掛金、短期借入金の減少等によるものであります。

また、固定負債は前期末に比べ4.6%増加し、2,509

百万円となりました。これは主に繰延税金負債の増加等によるものであります。

● 純資産

純資産につきましては、前期末に比べ2.5%増加し、16,400百万円となりました。これは主に時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加および親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加等によるものであります。

会社概要

商号	フジ日本精糖株式会社
英文名	Fuji Nihon Seito Corporation
設立	1949年(昭和24年) 7月
資本金	1,524百万円
従業員数	62名
本社所在地	〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号 電話 03(3667)7811(代表)
清水工場	〒424-0924 静岡県静岡市清水区清開一丁目4番10号 電話 054(334)5353(代表)
横浜共同生産工場	太平洋製糖株式会社 〒230-0053 神奈川県横浜市鶴見区大黒町13番46号 電話 045(501)0511(代表)
子会社	協立食品株式会社 ユニテックフーズ株式会社 Fuji Nihon Thai Inulin Co., Ltd. DAY PLUS (THAILAND) Co., Ltd.
関連会社	太平洋製糖株式会社 マ・マーマカロニ株式会社 南栄糖業株式会社

役員

代表取締役社長	船越 義和
取締役専務執行役員	櫻田 誠司
取締役常務執行役員	櫻田 礎久
取締役常務執行役員	佐塚 真弘
取締役	市村 由昭
取締役	村上 光廣
常勤監査役	福田 弘
監査役	上平 徹
監査役	北尾 孝司
監査役	内藤 健雄

執行役員

上席執行役員	小島 康克
執行役員	大口 真央
執行役員	関根 郁也
執行役員	和田 正

監査法人

会計監査人	有限責任監査法人トーマツ
-------	--------------

株式の状況

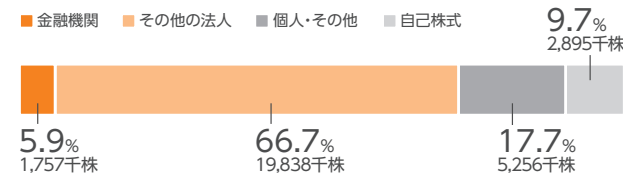
発行可能株式総数	110,000,000株
発行済株式の総数	29,748,200株
株主総数	11,588名

大株主

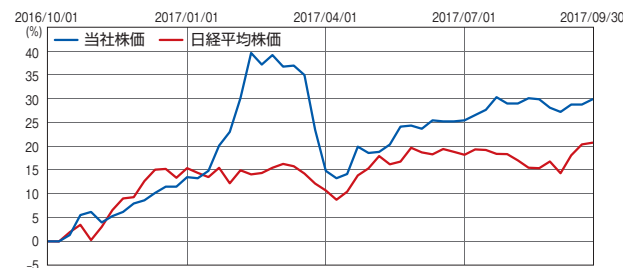
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
双日(株)	8,153	30.4
豊田通商(株)	2,459	9.2
鈴与(株)	1,902	7.1
和田製糖(株)	1,226	4.6
(株)静岡銀行	792	2.9
(株)榎本武平商店	758	2.8
小倉運輸(有)	669	2.5
新潟県砂糖卸荷受商業協同組合	600	2.2
(株)サカタのタネ	563	2.1
東京海上日動火災保険(株)	447	1.7

(注) 持株比率は自己株式(2,895千株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



比較チャート (2016年10月1日を基準日とした当社株価と日経平均株価の騰落率)



イヌリンの「整腸作用」に関する機能性表示が受理されました

今年6月に機能性関与成分である「イヌリン」が、「ビフィズス菌を増やしておなかの調子を整える」と表示することができる機能性表示食品として消費者庁に申請受理されました。プレバイオの素材としては機能性表示食品で初めて「ビフィズス菌を増やす」ことを謳うことができます。今後、健康訴求に関心のあるユーザー向けにイヌリン販売拡大の武器として使うことが可能になりました。さらに、「整腸作用」に続いて「血糖値の上昇抑制効果」・「血中脂質の低減効果」の機能性表示の申請も現在行っています。今後、イヌリンの生理機能に関するデータの取得・蓄積を進めるとともに、さまざまな加工食品に利用できるアプリケーション開発を行い、量・質の両面でイヌリン販売体制の拡充を図ってまいります。

機能性表示食品に関する基本情報

受付番号	… 4160713030
商品名	… フローラサポート
機能性関与成分	… イヌリン
表示しようとする機能	… 本品にはイヌリンが含まれています。イヌリンは善玉菌として知られているビフィズス菌を増やすことで、おなかの調子を整えることが報告されています。

展示会レポート (Fi Asia2017)

9月13日～15日の3日間、タイのバンコクで開催された食品素材の国際展示会「Fi Asia2017」に、当社「イヌリン」を出展しました。海外での自社出展は3年ぶり2回目の出展となります。今年度から連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co., Ltd. 製「イヌリン」をタイ国内で本格的に販売開始し、今回の出展で同国でのイヌリンの拡販に繋げることができました。今後はタイ国をはじめ、ベトナム、フィリピン、マレーシア、インドネシア、台湾、豪州などへの販売を目指してまいります。



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
基準日	3月31日 なお、中間配当を行う場合は9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場取引所	東京証券取引所
公告方法	当社のホームページに掲載いたします。 公告掲載URL http://www.fnsugar.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

【お知らせ】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

株主優待について

毎年3月31日現在で当社株式をご所有の株主の皆様には、所有株式数に応じた当社商品詰合せを、毎年6月に贈呈いたします。

100株以上	1,000円相当の自社製品
1,000株以上	3,000円相当の自社製品

ホームページのご案内

当社ホームページでは、IR情報や商品情報など様々な情報をご覧いただけます。また、ネットショッピングもお楽しみいただけます。

フジ日本精糖 検索
<http://www.fnsugar.co.jp/>



フジ日本精糖株式会社

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号
TEL : 03-3667-7811 <http://www.fnsugar.co.jp/>

**UD
FONT**

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。